



主な内容

- 2……平成23年名張市消防白書、まちの話
- 3……ひまわり、リバーナホール催物、かがやき催物
- 4……二次救急実施病院、関西医科大学市民公開講座

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



▲後輩への指導に力が入る



▲前日勤務隊員から引継ぎを受ける
谷本隊員(中央)と重森隊員(右)



▲「救急入電中」の放送。
出動隊は直ちに出勤準備



▲救急車内の機材などを抜き取りなく点検



▲気管挿管の訓練を行う城越隊員(右)と北川隊員(左)

地域医療を支える
vol.3

救急救命士が行く!

「救える命」を救いたい

病気やケガで命の危機にある人のもとへ駆けつけ、病院に搬送する間に可能な限り処置を行い、命を守る救急救命士。名張消防署で現在25人の救急救命士が活動しています。
今号では、昨年12月28日の救急救命士の1日をご紹介します。

☎名張消防署 ☎63・0999

救急救命士の朝

消防署の職員は24時間勤務。午前8時15分、前日に勤務した職員から引継ぎを受けます。すべての職員が入替わるので、円滑に業務を進めるための情報共有は欠かせません。

次に救急車の点検です。「前日に勤務した隊員が朝に車両の点検をしているのですが、当日勤務する隊員で、もう一度点検します。そして、車内の精密機械が正常に作動するか、不足している消耗品がないかを確認します」と重森隊員。人命にかかわるため、車内の資機材の点検に抜かりはありません。

救急救命士も一次・二次救急のすみ分け

午前9時59分「救急入電中」と署内に放送が流れました。この放送が入ると、緊張感の中、出動の準備をします。出動しな



午後1時30分、訓練が始まり

後輩への指導 自らは常に勉強の日々

「市民の皆さんと同じようにわたしたちも一次救急と二次救急のすみ分けを行っています」と谷本隊員。一方で「通報時に、意識がなかったり、大きな事故だったりと緊急性の高い場合は、救急救命士の人数を増やし、4人体制で出動することもあります」と話します。

「市民の皆さんと同じようにわたしたちも一次救急と二次救急のすみ分けを行っています」と谷本隊員。一方で「通報時に、意識がなかったり、大きな事故だったりと緊急性の高い場合は、救急救命士の人数を増やし、4人体制で出動することもあります」と話します。

隊員も、救急車のエンジンをかけたり、現場の地図を用意したり、少しでも早く出発できるように準備をします。この日、勤務となっている4人のうち2人の救急救命士と救急隊員1人が救急車に乗り込み出動しました。

救急救命士とは

救急隊員が、国や県などが指定する養成所で7か月間、知識や技能を習得し、国家試験に合格すれば救急救命士の資格を得ます。合格後、病院で1か月の研修を経ることで、心肺停止状態の患者に対し、医師の指示の下、次の医療行為などが許されます。

- ▼点滴(静脈路確保のための輸液) ▼薬剤の投与
- ▼器具を使った気道確保(気管挿管)

※気管挿管は新たに、講習や病院での実習が義務付けられています。名張消防署では5人の救急救命士が実施可能

ました。12月1日に消防学校を卒業したばかりの南出隊員は、担架での搬送や毛布での保温方法などの指導を受けます。城越隊員は「南出隊員は消防学校で一通り訓練を受けてきています。しかし、実際の現場では注意しなければいけないことがたくさんあります。わたしたちが持っている知識を吸収してもらい、少しでも早く現場で他の隊員と変わらない働きをしてもらう必要がある」と語気を強めます。

続けて、救急救命士4人による訓練。患者の状況などを想定し、現場と同じ緊張感を持って訓練を行います。「現場でより質の高い救急救命活動を実施するためにには訓練は欠かせません」と北川隊員。救急救命士は訓練以外にも、救急救命士が集まり、実際の症例を見直ししたり、定期的な病院実習や講習会に参加したりと、救急救命技術の維持向上を図っています。

2ページ目へ

平成23年 名張市消防白書



救急・救助

出場件数が3000件を超える

平成23年中の救急出場件数は3,140件(前年比+191件)。1日あたり、平均8.6件救急出場したことになります。搬送人員は全体で3,007人(前年比+169人)となりました。

事故種別ごとの救急出場件数は、急病が2,032件と最も多く、次いで一般負傷の409件、交通事故の279件となっています。

一方、平成23年中の救助出動は29件(前年比+2件)で、17人を救助しました。

救急出場状況

種別	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
出動件数	2,032件	409件	279件	420件	3,140件
搬送人員	1,890人	397人	324人	396人	3,007人

※その他とは転院搬送、労働災害事故などです。

救助出動状況

種別	火災	水難事故	交通事故	その他	合計
出動件数	0件	2件	15件	12件	29件
救助人員	0人	2人	8人	7人	17人

※その他とは機械による事故、自損行為などです。

☎ 名張消防署 ☎ 63-0999

火災

「こんろ」による火災が5件でトップ



平成23年中の火災件数は32件(前年比+9件)。約11日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災を種別ごとにみると、「建物火災」が14件で最も多く、そのうち6件が住宅火災となっています。

出火原因では、「こんろ」による火災が5件で最も多く、次いで「たき火(焼却行為)」が3件となっています。

火災による死者は3人、負傷者は8人。建物9棟が全焼しました。

火災発生状況

建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合計
14件	2件	3件	13件	32件

※その他火災とは、空き地や田畑などで発生した火災です。

☎ 消防本部予防室 ☎ 63-1412

◎「消防白書」は市ホームページにも掲載しています

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅火災から大切な命、財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。

設置後は、定期的に清掃や作動確認、電池交換を忘れずに行ってください。電池が切れる時期は製品によってさまざまですが、電池が切れるころになると、音やランプなどで知らせてくれます。

☎ 消防本部予防室 ☎ 63-1412

一斉放水「消防出初式」



名張市消防出初式が、1月7日、総合体育館で開催されました。式典では、服装点検や優良団員表彰が行われました。

その後、場所を名張川左岸に移し、一斉放水が行われました。



出動と事務作業が続く

午後4時10分・16分、立て続けに救急出動。16分の出動は、三重大学付属病院への搬送となったため、消防署へと戻ったのが午後7時34分。その間にも2件の救急出動が重なり、市内にある4台(名張消防署2台、桔梗が丘分署1台、つつじが丘



その後も深夜まで続く救急出動

出張所1台)の救急車のうち3台が出動しました。その後も救急出動が重なり、名張消防署の2台の救急車が出動していたため、名張消防署の出動範囲に、桔梗が丘分署から救急車が向かうことがありました。救急救命士は、出動の間を縫って、報告書の整理などの事務処理もこなします。

午前零時から6時までは交代で仮眠をとる時間ですが、その間にも3件の救急出動があるなど勤務中には休まる時間はありません。結局、この日は勤務中に市内で14件の救急出動がありました。「午前8時30分に次の隊との引継ぎ勤務を終えるとうまくはつとします」と重森隊員。市民の命を守るため、日々、救急救命士の活動は続きます。

命の危機にある「重症者」が利用できるように救急車の適正利用にご協力をお願いします



救急救命士 **重森 伸太**

昨年、名張市消防本部の救急出場件数が初めて3,000件を超えました。救急搬送の増加に伴い、伊賀地域の二次救急実施病院の受け入れにも限界があり、遠方への搬送が増えています。そのため、市にある4台の救急車がすべて出動してしまうこともあります。一方で、救急搬送された人の半数以上が入院の必要のない「軽症者」でした。命の危機にある「重症者」が利用できるように救急車の適正利用をお願いします。

症状が軽く、「交通手段がない」、「どこの病院に行けばよいかわからない」といった場合は、公共交通機関や三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64-1199)の活用をお願いします。

急な病気を防ぐことは困難ですが、市民の皆さんには普段から、かかりつけの病院を受診し、体調管理をお願いします。

次のような場合には迷わず救急車を呼んでください

- (1) 意識がない(呼びかけ、体に触れても気がつかない)
- (2) 胸や呼吸が苦しい(急な胸の痛み、呼吸困難)
- (3) 頭痛が激しい(経験したことの無い激しい痛み)
- (4) 動き・話しぶりがおかしい(身体の麻痺や言語障害がある)

※その他、ケガによる多量出血、骨折、やけど、普段と様子が違う、体を動かさず救急車以外で搬送できないなどの場合

20歳の決意「成人式」

まちの話題

成人式が、1月8日、総合体育館で開催され、987人の対象者のうち、729人が出席。式典開始前から久しぶりにあった友達と再会を喜んだり、写真を撮ったり楽しんでいました。



成人式の実行委員長の中嶋彰人さん(右写真)は、「社会に貢献できるように、責任と自覚を持って歩いていきたい」と決意を語りました。

「病院待合室でのひとコマ」

就職して間もないころ、わたしは窓口業務を担当していました。ある日、窓口に来られた高齢の女性に、申請書類への記入方法を説明していたときのことでした。「はい、じゃあ、おばあちゃん、ここにお名前を書いてくださいね」というわたしの言葉に、その女性はとても穏やかな口調で、「どうもありがとうございます。でもね、わたしはあなたのおばあちゃんじゃありませんよ」と言いました。

「高齢の人の場合はこう」「男性の場合はこう」「女性の場合はこう」といった具合に、何かしら自分の中でマニュアル化しているのかパターン化した対応になっていたのではないかと反省しました。言葉遣いは丁寧でも、窓口に来られた人、一人ひとりとして向き合い、寄り添う「オーダーメイド」の対応になっていなかっただけなのではないかと。このことを思い出したのは、先日、父の定期健診に付き添って行った病院の待合室での出来事がきっかけでした。父の姿を見た看護士さんは「〇〇さん、おはようございます。いかがですか?」とこやかに声をかけ、父の言葉の一つひとつにうなずきながら耳を傾けていました。



「申し訳ありません、そんなつもりでは…」とまどうわたしに女性性は、「意地悪みたいなこと言っておめんなさいね。丁寧なという気持ちはよく分かるのよ。ただね、人によって受けとめ方はいろいろだと思ふの。例えば、『幼い子どもを相手するかのよう』に言われている」と感じて、傷付くというムツとする人もいるんじゃないかしら」と優しく言いました。当時、経験も浅かったわたしは、「分かりやすく、丁寧な対応」ということで頭が一杯で、心に余裕がない状態でした。そのため、

「あの時のわたしに足りなかったものが、そこにはありました。」

「高年齢の人の場合はこう」「男性の場合はこう」「女性の場合はこう」といった具合に、何かしら自分の中でマニュアル化しているのかパターン化した対応になっていたのではないかと反省しました。言葉遣いは丁寧でも、窓口に来られた人、一人ひとりとして向き合い、寄り添う「オーダーメイド」の対応になっていなかっただけなのではないかと。このことを思い出したのは、先日、父の定期健診に付き添って行った病院の待合室での出来事がきっかけでした。父の姿を見た看護士さんは「〇〇さん、おはようございます。いかがですか?」とこやかに声をかけ、父の言葉の一つひとつにうなずきながら耳を傾けていました。



2月の岡地域医療室 献血

献血 63・6970

献血センター献血キャンペーン 日時 2月22日(水)午前10時~午後3時30分 午後1時30分~4時 場所 イオン名張店(元町) 内容 一般献血(400ミリリットル)、骨髄バンク登録

リバーナホール催物 2月 第2回彩タカラ水彩画展 日時 2月3日(金)~5日(日) 午前10時~午後6時(最終日は5時まで) 主催 彩タカラ 第8回絵手紙教室合同作品展 日時 2月10日(金)~12日(日) 午前10時~午後6時(初日は1時から最終日は5時まで) 主催 蔵持公民館絵てがみ教室 名張高校美術部作品展 日時 2月17日(金)~19日(日) 午前10時~午後6時(最終日は4時まで) 主催 名張高校 パレットの会油絵の作品展 日時 2月24日(金)~26日(日) 午前10時~午後5時(初日は正午から最終日は4時まで) 主催 パレットの会

子ども支援センターかがやき催物 開館時間 午前9時30分~午後5時 ※日・月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは翌日休館)、年末年始は休館 ▼「はじめて広場」2月10日(金) 午前10時30分~ ☆「かがやき」を利用したことがない人は、気軽にご参加ください。 ▼親子で遊ぼう 2月1日(水)~企画パパ・ママによる「かがやき発表会!」 2月18日(日)~子どもコーラス「かたつむり」によるミニコンサート ※いずれも午前10時45分~ 岡 ども支援センターかがやき (桔梗が丘西3) ☎67-0250

国津の杜の行事 ①陶芸教室 白磁の土で食器を作りましょう。 日時 1月26日(日) 午前10時~午後零時30分 講師 角谷 英明さん 定員 12人 参加費 3,000円 持ち物 作業しやすい服装、手拭きタオル、エプロン ②草木染教室 シルクストールを染めましょう。 日時 2月10日(金) 午前10時~午後零時30分 講師 榎本 美代子さん 定員 10人 参加費 2,000円 持ち物 作業しやすい服装、手拭きタオル、エプロン、ゴム手袋 ③味噌づくり教室 こうじ味噌を作りましょう(一人当たり5kg) 日時 2月11日(祝)・12日(日)・13日(月) ▼前半の部 午前10時~午後零時30分 ▼後半の部 午前11時~午後1時30分 講師 山びこの会の皆さん 定員 各日各部12人 参加費 2,500円 持ち物 エプロン、三角巾、手拭きタオル、味噌入れ容器 ☆☆☆☆☆ 申込 ①は1月23日(日)から25日(火)までに、②、③は1月23日(日)から2月3日(日)までに、電話で問い合わせ先へ ※先着順。参加者が少ない場合は中止。参加費は材料費を含む

「青年海外協力隊経験者と語ろう 協力隊ナビ IN なばり」◎参加無料 日時 2月4日(日) 午後2時~4時 場所 市民情報交流センター(希央台5) 岡 青年海外協力隊三重県OB会(竹尾) ☎64-4453

「第2回名張子ども伝統芸能祭り」を開催 ◎入場無料

「観阿弥創座の地」名張で、伝統文化の伝承や発展のために、市内で活動している子どもたちが出演します。 日時 2月5日(日) 午後1時30分~ ※午後1時開場 場所 アドバンスコープADSホール(松崎町) 出演団体 名張音頭保存会 こどもの部 名張子ども狂言の会 名張雅楽の会 名張こども雅楽教室 名張こども能楽囃子教室

岡 文化生涯学習室 ☎63-7892

名張市選挙管理委員が 決まりました

任期満了(平成23年12月21日)に伴う名張市選挙管理委員の改選が行われ、4人の委員が決まりました。任期は平成27年12月21日までの4年間です。 また、1月10日に開かれた選挙管理委員会委員の中から委員長と職務代理者が次のように決まりました。 委員長 福山 英敏(桔梗が丘3) 委員長職務代理者 中辻 重行(柳原町) 委員 望月 明子(桔梗が丘8) 委員 男山 佳子(夏見)

岡 選挙管理委員会事務局 ☎63-7314

事業主の皆さんへ「地域雇用開発助成金」のお知らせ

新たな事業所の設置・整備などを行い、求職者を雇用した場合、三重労働局から地域雇用開発助成金が支給されます。 助成期限 平成26年9月30日 ※詳しくは、お問い合わせください。 岡 ハローワーク伊賀 ☎21-3221

次号予告 知事と市長の対談「伊賀地域の医療体制を考える」

伊賀地域二次救急実施病院

【小児科以外の診療科】

2月

健康福祉政策室 ☎63-7579

実施時間帯

- ◆平日…午後5時～翌日午前8時45分
- ◆土・日曜日、祝日…午前8時45分～翌日午前8時45分
- ※ただし、岡波総合病院は、月曜日…午後5時～翌日午前9時/第2・4日曜日、祝日…午前9時～翌日午前8時45分
- ◆平日昼間午前8時45分～午後5時は、名張市立病院で二次救急を実施

日	月	火	水	木	金	土
			1 名/岡	2 名	3 上	4 名
5 名	6 岡	7 上	8 名/岡	9 名	10 上	11 上
12 岡	13 岡	14 名	15 名/岡	16 名	17 上	18 名
19 名	20 岡	21 上	22 名/岡	23 名	24 上	25 上
26 岡	27 岡	28 名	29 名/岡			

☆みえ子ども医療ダイヤル(☎#8000)…子どもの急病やケガの無料相談(毎日午後7時30分～11時30分)

☆三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64-1199)…24時間体制で受診可能な医療機関を紹介

名張市立病院(☎61-1100)

- ◆救急車での搬送以外は必ず事前にご連絡ください。
- 上野総合市民病院(☎24-1111)
- ◆開業医・応急診療所の紹介、救急車での搬送のみ受け入れ
- 岡波総合病院(☎21-3135)
- ◆救急車での搬送以外は必ず事前にご連絡ください。

- ◎受け入れ対象は、重症患者です。実施日以外は救急受け入れを行いません。
- ◎名張市立病院小児科の時間外の二次救急は、市立病院の二次救急実施日に実施
- ◎岡波総合病院小児二次救急は、かかりつけ医、または、応急診療所の紹介、救急車での搬送による入院が必要な重症患者の場合のみ受け入れを行います。受診後は必ず入院となります。

◎救急車の適正利用をお願いします

関西医科大学市民公開講座 「発達障害を知り、子どもたちを理解する」を開催

日時 2月5日(日)午後1時30分～4時30分
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)

内容 ▼特別講演「小児の発達障害について」
/講師 石崎 優子さん(関西医科大学小児科学講座講師)
▼実践報告「小児発達支援外来の1年を振り返って」
/講師 小林 穂高さん(関西医科大学小児科学講座研究医員)

◎参加無料。申込不要

☎子ども発達支援室 ☎62-1088

2月7日蛭子神社前で1000人にかす汁振る舞い

山の幸と海の幸の物々交換の名残と言われる「はまぐり市」が開かれるほか、「七福神の舞い」、福娘による商売繁盛の縁起物「吉兆」の授与なども行われます。

日時 2月7日(日)午後1時～

※なくなり次第終了

場所 蛭子神社前(鍛冶町)

◎2月7日・8日は蛭子神社周辺で交通規制が行われます。公共交通機関をご利用ください。

☎名張市観光協会 ☎63-9148

市民情報交流センターの管理運営を行う団体を募集

市民情報交流センター(希央台5)を効果的、効率的に管理運営していただける団体を募集します。

委託期間 4月1日～平成25年3月31日(1年間)

応募資格 市内に活動拠点を持つ団体

申請 1月23日(日)から2月3日(金)までに市役所4階地域経営室で配布する募集要項を確認の上、2月15日(日)から22日(金)までに、同室に申請してください。

※土・日曜日は除く。詳しくは問い合わせ先へ

☎地域経営室 ☎63-7484

「障害者アグリ就労推進研修会」を開催 ◎参加無料

名張市障害者アグリ雇用推進協議会や各地での取組み事例を紹介し、農業分野における障害者の就労推進について考えます。

日時 2月4日(土)午後1時～5時

場所 市役所1階大会議室

内容 ▼基調講演「農業分野での障害者就労の可能性」
/講師 濱田 健司さん(社農協共済総合研究所主任研究員) ▼事例報告
▼パネルディスカッション

申込 1月30日(日)までに電話やファクス(64-0644)、電子メール(sangyou@city.nabari.mie.jp)などで住所、名前、連絡先を問い合わせ先へ

☎名張市障害者アグリ雇用推進協議会事務局(産業政策室内) ☎63-7623

地区管理地や地区集会所などの刈り草や奉仕清掃ごみについて

地区管理地、地区公園、地区集会所などの刈り草や奉仕清掃で出たごみは、事前に減免申請を行うか、ボランティア専用ごみ袋に入れて伊賀南部クリーンセンターに搬入してください(市から地域委託を受けた公園の刈り草は除く)。

◎ごみが大量になるときは、事前に電話で問い合わせ先へ。なお、ボランティア専用ごみ袋をごみステーションに出す場合は、1回につき2袋までとします。

☎伊賀南部環境衛生組合 ☎53-1120

20組が出場 第11回大人たちのdoki dokiコンサート

「趣味」で音楽を楽しんでいる皆さんの演奏会です。ピアノやフルート、チェロ、尺八、オカリナなど個性豊かな舞台が繰り広げられます。

日時 2月26日(日)午後1時～

※午後零時30分開場

場所 アドバンスコープADSホール(松崎町)

◎入場無料

☎アドバンスコープADSホール ☎64-3478

旧消防本部・消防署跡地(栄町) 暫定的に無料駐車場に

利用開始日 2月1日(日)

利用時間 午前8時～午後5時

場所 栄町2873-1(名張小学校隣)

利用対象 ▼名張地区まちづくり推進協議会の活動に伴う利用

▼名張のまちなかを散策するための利用

▼名張幼稚園などの送迎車両の一時駐車

▼付近の公共施設利用者の一時駐車

☎地域経営室 ☎63-7484

子どもの権利について理解を深めよう「子ども条例啓発講演会」を開催

日時 2月11日(祝)午後2時～

場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)

内容 ▼ばりっ子会議より市長への提言と活動報告 ▼基調講演「子どもにやさしいまちを創る」
/講師 喜多 明人さん(早稲田大学教授) ▼活動報告 チャイルドラインの取り組み、名張市子ども相談室の取り組みなど

◎参加無料。申込不要

☎子育て支援室 ☎63-7594

松明調進行事「松明切り出し・調製」を開催 ◎参加無料。申込不要

東大寺二月堂で行われる修二会(お水取り)で用いられる松明木を調製します。 ※見学可

日時 2月11日(祝)午前8時～午後3時

場所 極楽寺(赤目町一ノ井)

☎春を呼ぶ会(名張市観光協会内) ☎63-9148

司法書士・土地家屋調査士「合同無料相談会」を開催

不動産の名義変更(売買・相続・贈与など)・遺言・土地境界などに関するトラブルについて三重県司法書士会伊賀支部、三重県土地家屋調査士会伊賀支部が合同で開催します。

日時 2月4日(土)午前10時～午後2時

場所 桔梗が丘公民館 ◎申込不要

☎三重県司法書士会事務局 ☎059-224-5171

「第7回名張育成会ふれあいバザー」を開催 日時 2月12日(日)午前10時～午後2時 場所 桔梗が丘小学校体育館

◎バザー用品をご提供ください 日用雑貨、タオル、衣類、食料品(賞味期限内のもの)など ※詳しくは問い合わせ先へ ☎名張育成会 ☎65-3787